



#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>屋外広告物の新規申請173件と更新申請345件で合計件数が518件と目標値を上回っていた。</p> <p>屋外広告業の新規登録と更新登録の合計件数が119件であった。</p> <p>屋外広告物の1年と3年更新の前月に許可更新手続きの通知書と共に同一敷地の未申請広告物についての追加申請を促す文章を添付している成果が徐々にあらわれ、更新申請時には未申請広告物の追加申請を一緒に行ってくれる申請者が増えている。</p>
見直し・改善内容	<p>屋外広告物に関する理解が得られていない現状をふまえ、市民への継続的な周知活動を行う必要がある。</p> <p>また、屋外広告業登録業者及び各種団体に向けて啓発活動を行う必要がある。</p> <p>屋外広告物の条例及び規則にて、より安全を担保するための対策とし、資格要件追加及び規模に応じた資格要件に改正する。</p>